



## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日  
東

上場会社名 株式会社イード 上場取引所  
 コード番号 6038 URL <http://www.iid.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮川 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 久岡 千恵 (TEL) 03(6635)0000  
 定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 2024年9月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	6,125	0.9	523	△7.9	547	△3.3	163	△41.8
2023年6月期	6,072	8.9	568	△10.8	566	△11.3	280	△37.8

(注) 包括利益 2024年6月期 205百万円(△40.7%) 2023年6月期 346百万円(△23.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	33.34	33.31	4.0	9.2	8.6
2023年6月期	56.31	56.12	7.2	10.5	9.4

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 一百万円 2023年6月期 △2百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	6,269	4,266	67.0	856.25
2023年6月期	5,661	4,172	71.7	829.59

(参考) 自己資本 2024年6月期 4,201百万円 2023年6月期 4,058百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	826	△292	217	3,613
2023年6月期	353	△159	△266	2,836

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	12.00	12.00	58	21.3	1.5
2024年6月期	—	0.00	—	14.00	14.00	68	42.0	1.7
2025年6月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00			

## 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	6,700	9.4	590	12.6	590	7.7	370	126.8	75.40

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 -社 (社名)- 、除外 -社 (社名)-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年6月期	5,062,600株	2023年6月期	5,062,600株
2024年6月期	155,748株	2023年6月期	170,138株
2024年6月期	4,893,171株	2023年6月期	4,976,325株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	3,432	△7.3	449	△10.2	483	△4.4	141	△45.3
2023年6月期	3,704	△1.9	500	△13.4	505	△16.2	259	△32.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期	29.02		28.99					
2023年6月期	52.19		52.02					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年6月期	5,306		3,935		74.2	802.10		
2023年6月期	4,657		3,803		81.7	777.43		

(参考) 自己資本 2024年6月期 3,935百万円 2023年6月期 3,803百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料「1. (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当社グループの主力セグメントであるクリエイタープラットフォーム事業（CP事業）が属するインターネット広告市場におきましては、「2023年 日本の広告費」（株式会社電通）によると、地政学的リスクや物価高騰などの影響を受け、企業のマーケティング投資は抑制傾向になったものの、インターネット広告は前年に続き増加し、インターネット広告媒体費は2兆6,870億円（前年比108.3%）となりました。

このような環境下、当社グループは、激しい外部環境変化への耐性を強化し、持続的な成長基盤の確立に向けて、多様な収益ポートフォリオの構築による事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は6,125,104千円（前期比0.9%増）、営業利益は523,790千円（前期比7.9%減）、経常利益は547,695千円（前期比3.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は163,153千円（前期比41.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### a. クリエイタープラットフォーム事業（CP事業）

CP事業におきましては、前第2四半期連結会計期間に連結子会社化したエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の業績が寄与したほか、既存のメディアシステム開発運営事業も好調で、当連結会計年度におけるシステム売上※4は1,183,962千円（前期比25.1%増加）と前期から大きく増加しました。またデータ・コンテンツ提供売上※2は2,367,715千円（前期比0.7%増加）と前期から微増となりました。一方で、インターネットメディアへの広告出稿については底は脱しつつあるものの依然十分ではなく、利益率の高いネット広告売上※1は、1,478,973千円（前期比11.0%減少）と引き続き前期を下回る水準となりました。また、出版ビジネス※3は511,237千円（前期比2.1%減少）となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は5,501,024千円（前期比1.3%増加）、セグメント利益（営業利益）は431,456千円（前期比2.0%減少）となりました。

#### b. クリエイターソリューション事業（CS事業）

CS事業におきましては、ECソリューションで引き続き受注が伸びておらず、またリサーチソリューションも当第4四半期連結会計期間に入って受注が低調となり、当連結会計年度は全体として売上高、営業利益ともに前期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメント売上高は624,080千円（前期比2.6%減少）、セグメント利益（営業利益）は92,333千円（前期比28.2%減少）となりました。

#### ※1 ネット広告売上とは主に以下による広告売上

- ・運用型広告：アドネットワーク（異なる複数の広告媒体を束ねてネットワーク配信する仕組み）による売上
- ・アフィリエイト広告：成果報酬型のインターネット広告。商品購入や資料請求などの、最終成果またはクリックが発生した件数に応じて広告費用を支払う。
- ・提案型広告：Webメディア側による企画・提案または顧客の要望に基づいて制作する広告
- ・純広告：バナー広告、メール広告など

#### ※2 データ・コンテンツ提供売上とは、主に、ECサイトなどを通じた各種商品・サービスの販売・提供や、自社が保有するデータ、記事、コンテンツなどの販売・課金による売上

#### ※3 出版ビジネス売上とは、主に雑誌販売による売上

#### ※4 システム売上とは、主にメディア向け・EC向けのシステム及びデータセンター管理用システムの提供、運営支援による売上

この結果、売上高は6,125,104千円（前連結会計年度6,072,191千円）となり、52,913千円の増加（前期比0.9%増）、営業利益は523,790千円（前連結会計年度568,912千円）となり、45,122千円の減少（前期比7.9%減）となりました。

### 経常利益

当連結会計年度における経常利益は547,695千円(前連結会計年度566,466千円)となり、18,770千円の減少(前期比3.3%減)となりました。主な要因は、投資事業組合運用益を21,714千円計上(前連結会計年度は投資事業組合運用損を3,816千円計上)したこと等によるものであります。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

当連結会計年度においては、投資有価証券評価損175,476千円および減損損失27,105千円の特別損失を計上しました。また、法人税、住民税及び事業税170,246千円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は163,153千円(前連結会計年度280,198千円)となり、117,045千円の減少(前期比41.8%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当連結会計年度末における総資産は6,269,107千円(前連結会計年度末5,661,746千円)となり、607,360千円の増加となりました。主な要因は、当連結会計年度の現金及び預金が807,486千円増加したこと等によるものであります。

### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は2,003,103千円(前連結会計年度末1,488,983千円)となり、514,119千円の増加となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が330,348千円増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,266,003千円(前連結会計年度末4,172,762千円)であり、93,241千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が93,798千円増加したこと、その他有価証券評価差額金が39,747千円増加したこと、非支配株主持分が49,509千円減少したことおよび自己株式が11,322千円減少したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における当社グループの現金及び現金同等物は3,613,690千円と前連結会計年度末と比べ777,099千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは826,983千円の増加となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益345,112千円、投資有価証券評価損益(△は益)175,476千円、減価償却費85,529千円、のれん償却額69,814千円の計上等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは292,542千円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出88,313千円、子会社株式の追加取得による支出75,455千円、無形固定資産の取得による支出54,351千円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは217,721千円の増加となりました。これは主に、長期借入れによる収入500,000千円、長期借入金の返済による支出169,652千円、配当金の支払額57,427千円、自己株式の取得による支出20,612千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
自己資本比率	72.8%	71.7%	72.8%	71.7%	67.0%
時価ベースの自己資本比率	90.2%	89.8%	72.9%	65.3%	57.6%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.49年	1.02年	0.51年	1.38年	1.03年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	281.8倍	313.4倍	409.6倍	161.5倍	243.0倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

注（１）いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（２）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（３）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（４）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

（５）利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### （４）今後の見通し

中東情勢、中国経済、米国大統領選挙などの不透明な海外情勢に加え、国内の政治経済動向も先行きが見通しにくい状況ではありますが、一方で、引き続きグローバルIT企業を中心に積極的なAI投資が期待でき、国内へのポジティブな波及効果として、IT業界・インターネットマーケティング業界全体も活性化してくるものと見込んでいます。

このような環境下において、当社グループでは、積極的にM&Aや事業開発を進めることで、手がけるメディアや事業の領域を拡大するとともに、各領域でのビジネスモデルを多角化することで、引き続き、安定的かつ継続的に事業成長を目指してまいります。なお、次期の連結業績予想については、今後M&Aにより追加される事業の影響は含んでおりません。

以上を踏まえ、次期（2025年6月期）の連結業績予想につきましては、売上高6,700百万円（前期比9.4%増）、営業利益590百万円（前期比12.6%増）経常利益590百万円（前期比7.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益370百万円（前期比126.8%増）を見込んでおります。

（注）本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

#### （５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の最重要課題の1つと捉え、将来の事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針とし、連結株主資本配当率（DOE ※）1.5%を目安としております。

（※）連結株主資本配当率（DOE：Dividend on Equity）＝配当総額÷株主資本

このような基本方針に基づき、当期の期末配当につきましては、当事業年度の業績及び今後の事業環境を考慮し、1株当たり14円を予定しております。また、次期2025年6月期の配当方針につきましては、2024年5月15日に公表のとおり、連結株主資本配当率を引き上げ、DOE2.0%を目安といたします。

なお、中間配当を行うことができる旨を定款に定めておりますが、剰余金の配当は期末配当の年1回を基本方針としております。配当の決定機関は、期末配当については定時株主総会、中間配当については取締役会であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,806,204	3,613,690
受取手形、売掛金及び契約資産	948,288	888,872
商品及び製品	132,320	117,871
仕掛品	22,713	10,419
原材料及び貯蔵品	685	296
1年内回収予定の長期貸付金	35,859	989
その他	129,501	96,609
貸倒引当金	△53,222	△10,626
流動資産合計	4,022,349	4,718,122
固定資産		
有形固定資産		
建物	155,378	155,378
減価償却累計額	△61,734	△70,321
建物(純額)	93,644	85,056
工具、器具及び備品	297,120	302,633
減価償却累計額	△257,886	△269,272
工具、器具及び備品(純額)	39,234	33,361
その他	115,891	139,007
減価償却累計額	△46,199	△64,967
その他(純額)	69,692	74,039
有形固定資産合計	202,570	192,457
無形固定資産		
のれん	339,924	362,172
その他	198,038	179,359
無形固定資産合計	537,962	541,532
投資その他の資産		
投資有価証券	598,456	539,145
繰延税金資産	158,252	138,758
その他	142,154	175,021
貸倒引当金	△0	△35,930
投資その他の資産合計	898,863	816,994
固定資産合計	1,639,396	1,550,984
資産合計	5,661,746	6,269,107



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	327,200	298,620
電子記録債務	52,617	55,735
1年内償還予定の社債	20,000	-
1年内返済予定の長期借入金	154,652	253,832
未払金	108,153	164,226
未払費用	75,463	109,954
未払法人税等	582	123,425
賞与引当金	22,779	20,897
ポイント引当金	6,408	5,812
返金負債	56,224	66,879
役員賞与引当金	-	1,809
その他	223,033	239,786
流動負債合計	1,047,115	1,340,979
固定負債		
長期借入金	263,323	494,491
繰延税金負債	22,386	13,487
役員退職慰労引当金	114	114
資産除去債務	53,726	53,940
その他	102,317	100,090
固定負債合計	441,867	662,123
負債合計	1,488,983	2,003,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,730,465	1,728,347
利益剰余金	2,358,508	2,452,307
自己株式	△133,632	△122,310
株主資本合計	4,005,341	4,108,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,410	93,157
その他の包括利益累計額合計	53,410	93,157
非支配株主持分	114,011	64,501
純資産合計	4,172,762	4,266,003
負債純資産合計	5,661,746	6,269,107

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,072,191	6,125,104
売上原価	3,359,020	3,375,841
売上総利益	2,713,170	2,749,263
販売費及び一般管理費	2,144,258	2,225,473
営業利益	568,912	523,790
営業外収益		
受取利息	2,101	2,545
受取配当金	4,707	7,005
為替差益	2,362	2,906
投資有価証券評価益	2,229	-
投資事業組合運用益	-	21,714
助成金収入	2,120	2,442
その他	2,922	4,857
営業外収益合計	16,444	41,472
営業外費用		
支払利息	2,219	2,847
持分法による投資損失	2,471	-
投資事業組合運用損	3,816	-
子会社移転費用	5,349	-
支払補償費	2,489	1,962
違約金	-	8,000
貸倒引当金繰入額	1,828	3,537
その他	715	1,220
営業外費用合計	18,890	17,567
経常利益	566,466	547,695
特別利益		
投資有価証券償還益	39,999	-
特別利益合計	39,999	-
特別損失		
減損損失	84,518	27,105
投資有価証券評価損	28,842	175,476
特別損失合計	113,361	202,582
税金等調整前当期純利益	493,104	345,112
法人税、住民税及び事業税	125,413	170,246
法人税等調整額	72,350	8,711
法人税等合計	197,764	178,958
当期純利益	295,340	166,154
非支配株主に帰属する当期純利益	15,141	3,001
親会社株主に帰属する当期純利益	280,198	163,153

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	295,340	166,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,613	39,747
その他の包括利益合計	51,613	39,747
包括利益	346,953	205,901
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	331,812	202,900
非支配株主に係る包括利益	15,141	3,001

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	883,053	884,975	2,078,309	△85,537	3,760,800
当期変動額					
新株の発行	16,471	16,471			32,942
自己株式の取得				△119,483	△119,483
自己株式の処分		△20,505		71,388	50,883
減資	△849,524	849,524			-
剰余金の配当					-
親会社株主に帰属する 当期純利益			280,198		280,198
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△833,053	845,490	280,198	△48,095	244,540
当期末残高	50,000	1,730,465	2,358,508	△133,632	4,005,341

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	1,797	1,797	66,101	3,828,699
当期変動額				
新株の発行				32,942
自己株式の取得				△119,483
自己株式の処分				50,883
減資				-
剰余金の配当				-
親会社株主に帰属する 当期純利益				280,198
連結範囲の変動				-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	51,613	51,613	47,909	99,523
当期変動額合計	51,613	51,613	47,909	344,063
当期末残高	53,410	53,410	114,011	4,172,762

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,730,465	2,358,508	△133,632	4,005,341
当期変動額					
新株の発行					-
自己株式の取得				△20,396	△20,396
自己株式の処分		△2,118		31,718	29,600
減資					-
剰余金の配当			△58,709		△58,709
親会社株主に帰属する 当期純利益			163,153		163,153
連結範囲の変動			△10,644		△10,644
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△2,118	93,798	11,322	103,003
当期末残高	50,000	1,728,347	2,452,307	△122,310	4,108,344

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	53,410	53,410	114,011	4,172,762
当期変動額				
新株の発行				-
自己株式の取得				△20,396
自己株式の処分				29,600
減資				-
剰余金の配当				△58,709
親会社株主に帰属する 当期純利益				163,153
連結範囲の変動				△10,644
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	39,747	39,747	△49,509	△9,761
当期変動額合計	39,747	39,747	△49,509	93,241
当期末残高	93,157	93,157	64,501	4,266,003

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	493,104	345,112
減価償却費	72,089	85,529
のれん償却額	76,208	69,814
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,524	△6,665
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,687	△1,882
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	56	△595
返金負債の増減額 (△は減少)	444	10,654
受取利息及び受取配当金	△6,808	△9,551
支払利息	2,219	2,847
助成金収入	△2,120	△2,442
株式報酬費用	9,901	12,110
子会社移転費用	5,349	-
違約金	-	8,000
支払補償費	2,489	1,962
減損損失	84,518	27,105
持分法による投資損益 (△は益)	2,471	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	26,613	175,476
投資有価証券償還損益 (△は益)	△39,999	-
売上債権の増減額 (△は増加)	17,616	64,603
棚卸資産の増減額 (△は増加)	18,341	33,695
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,405	△28,655
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	1,809
前受金の増減額 (△は減少)	△22,286	△1,948
未払金の増減額 (△は減少)	△27,261	24,609
未払費用の増減額 (△は減少)	△116,366	33,664
その他	△4,222	17,888
小計	586,166	863,141
利息及び配当金の受取額	8,605	7,803
利息の支払額	△2,190	△3,279
助成金の受取額	2,120	2,442
子会社移転費用の支払額	△4,355	-
違約金の支払額	-	△8,000
補償費の支払額	△2,489	△1,962
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△234,186	△33,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	353,670	826,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,037	△21,191
無形固定資産の取得による支出	△36,630	△54,351
有価証券の償還による収入	50,015	-
投資有価証券の取得による支出	△99,905	△88,313
投資有価証券の売却による収入	1,450	2,259
投資事業組合からの分配による収入	-	26,934
貸付けによる支出	△20,000	△30,000
貸付金の回収による収入	2,951	737
敷金の支払による支出	△7,676	-
敷金の返還による収入	367	4,221
事業譲受による支出	△8,000	△48,000
子会社株式の追加取得による支出	-	△75,455
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18,992	△9,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△159,457</b>	<b>△292,542</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	△134,258	△169,652
社債の償還による支出	△15,000	△20,000
自己株式の処分による収入	16,810	3,120
自己株式の取得による支出	△120,192	△20,612
配当金の支払額	-	△57,427
その他	△13,505	△17,706
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△266,146</b>	<b>217,721</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△347</b>	<b>△31</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72,281	752,131
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,294	2,836,591
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	24,968
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,577	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,836,591	3,613,690

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日 企業会計基準委員会)を当連結会計年度の期首から適用しております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

クリエイタープラットフォーム事業(CP事業)は、「iid-CMP(イード・コンテンツ・マーケティング・プラットフォーム)」にて運営するWebメディア、コンテンツを通じて、顧客企業へマーケティングサービス(インターネット広告及びデータ・コンテンツ提供)を提供し、顧客企業より支払われる広告料金やデータ・コンテンツ利用料金、ECサイト運営等により主な収入を得ております。2024年6月末時点では、21ジャンル81個のWebメディア及びコンテンツを運営しており、各メディアジャンルに特化した情報(ニュース記事)及びコンテンツを、インターネットを通じて提供しております。

クリエイターソリューション事業(CS事業)は、主に「リサーチソリューション」と「ECソリューション」の2つのソリューションを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。



3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注)2
	クリエイター プラット フォーム事業	クリエイター ソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,431,575	640,615	6,072,191	—	6,072,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,431,575	640,615	6,072,191	—	6,072,191
セグメント利益	440,263	128,648	568,912	—	568,912
その他の項目					
減価償却費	59,511	12,578	72,089	—	72,089
のれんの償却額	76,208	—	76,208	—	76,208

(注) 1. セグメント資産、セグメント負債については、経営の意思決定上、各セグメントに配分していないため記載しておりません。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注)2
	クリエイター プラット フォーム事業	クリエイター ソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,501,024	624,080	6,125,104	—	6,125,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,501,024	624,080	6,125,104	—	6,125,104
セグメント利益	431,456	92,333	523,790	—	523,790
その他の項目					
減価償却費	73,266	12,262	85,529	—	85,529
のれんの償却額	69,814	—	69,814	—	69,814

(注) 1. セグメント資産、セグメント負債については、経営の意思決定上、各セグメントに配分していないため記載しておりません。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と同額となっております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	クリエイター プラットフォーム事業	クリエイター ソリューション事業		
減損損失	84,518	—	—	84,518

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	クリエイター プラットフォーム事業	クリエイター ソリューション事業		
減損損失	27,105	—	—	27,105

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	クリエイター プラットフォーム事業	クリエイター ソリューション事業		
当期償却額	76,208	—	—	76,208
当期末残高	339,924	—	—	339,924

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	クリエイター プラットフォーム事業	クリエイター ソリューション事業		
当期償却額	69,814	—	—	69,814
当期末残高	362,172	—	—	362,172

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (2022年7月1日 2023年6月30日)	当連結会計年度 (2023年7月1日 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	829.59円	856.25円
1株当たり当期純利益	56.31円	33.34円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	56.12円	33.31円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年7月1日 2023年6月30日)	当連結会計年度 (2023年7月1日 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	280,198	163,153
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(千円)	280,198	163,153
普通株式の期中平均株式数(株)	4,976,325	4,893,171
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	16,371	4,512
(うち新株予約権(株))	16,371	4,512
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含まれなかつ た潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。